

令和4年度第1回三鷹市個人情報保護委員会  
特定個人情報保護評価部会会議概要

1 日時

令和4年9月13日 火曜日 午後7時55分から午後8時25分まで

2 議題

特定個人情報保護評価書の第三者点検について  
健康管理に関する事務

3 場所

三鷹市教育センター3階 大研修室

4 出席委員（敬称略）

樋口 範雄 羽根 一成 石橋 圭介

5 市側出席者

山口新型コロナウイルスワクチン接種担当課長  
白戸情報推進課長 八木相談・情報課長  
山下新型コロナウイルスワクチン接種実施本部事務局主査  
下鳥情報推進課地域情報化推進係長 松田相談・情報課主査

[事務局]

情報推進課 高木主査  
相談・情報課 宮川主事 田中主事

6 公開又は非公開の別

公開

7 傍聴者

なし

8 概要

---

(1) 審議事項

特定個人情報保護評価書の第三者点検について  
白戸情報推進課長より、特定個人情報保護評価制度の概要について説明があった。

---

**【樋口部会長】**

このコンビニでの何とかというのは、今はコンビニのところをキオスクと言うのですか。いや、キオスクというのは、私の時代はJRのところにあるものでした。今もう変わってしまったのですか。

**【白戸情報推進課長】**

今は国がそういう表現を使っているので、ここでもそう使ってしまったのですが、多機能端末と言ったりとかコピー機と言ったりする場合があります。

**【樋口部会長】**

でも、キオスクと言うのですね。

**【白戸情報推進課長】**

言うは言いますね。

**【樋口部会長】**

言うのですね。それから、当たり前だけれども、これは三鷹市内のコンビニだけでなく、東京駅の辺りでコンビニに入っても何でもできるという。私自身やったことがあるのは、住民票をどこかまで行かなくてもああいうところで取れるというのはやったことがありますけれども、今度、ワクチン接種証明書というのが必要になるだろうから、そういうサービスが始まったということは分かりますけど、同じようなサービスって住民票以外にもいろいろあるのですか。

**【白戸情報推進課長】**

はい。ありますが、行政証明がやはり多くて、住民票、税証明とか戸籍とか。

**【樋口部会長】**

戸籍なんかもですか。

**【白戸情報推進課長】**

今は取れます。三鷹でも取れますけれども。その仕組みと同様の仕組みを使っているということで、住民票もJ-LISが仲介をしてコンビニとつないでおりますので、恐らくその仕組みを利用したのだろうということで理解しています。

**【石橋委員】**

この委員会での位置づけが一つと、中身について一つ。

この説明会の資料を拝見しますと、12ページで、まず、これは全項目評価をしていたかと思っています。よろしいですか。

【白戸情報推進課長】

さようでございます。

【石橋委員】

もっと簡単に基礎項目だけでいいよと書いているように思えて、12ページを見ますと大多数の自治体は基礎項目だけでいい、だけど、三鷹市はわざわざこのように全項目していただいたという、お手数おかけしているようなところがございますけれども、これは左に入るのですか。

【白戸情報推進課長】

10万から30万のところに入って、本来は全項目と重点と基礎とあるうちの真ん中の部分に当たりますけども、三鷹ではこの人数以上いけば全項目に引き上げて、全部そろえて評価をしましょうということにしています。

なぜかという、全項目にするとリスク管理の部分を全て記載しないといけないということになっておまして、リスク管理は全部やらないといけないのに基礎項目にすると書いていないから、何をやるか分からないデメリットもあつたりしますので、それで、三鷹では引き上げてやっているということがあります。

【石橋委員】

わざわざ丁寧にやっていただきありがとうございます。承知しました。

もう一点中身についてですけれども、14番目と15番、横のこの資料のページ数14のところですけれども、先ほどおっしゃっていたのは、向こうからこっちに来たときに、向こうに問い合わせないと今何回目をやればいいのか分からないよというお話をしていましたけど、これはどちらかという、向こうに行ったときの話かなと思うのですが、そのときに、今までは行った先から問い合わせれば答えるよという形の書きぶりになっていて、今回は向こうに行った先のみならず、他ならどこから聞かれても答えるよと読めてしまうように思いましたので、これは何で他になったのかということだけ。

【白戸情報推進課長】

これは確認させてもらいたいのですが、転出先だけだと限定されてしまうのですけれども、例えば届出をきちんとされているかどうかという場合もありまして、飛ばしたりする人もいたりとか、恐らくそういうことではないかなと。これで転出先と限ってしまうと、2次転出とって、転出した先でどんどん転出したりしていると、実際そこで必要なのに取れないとか、そういうことがあるのではないかなと。

【石橋委員】

何回も転出された方にしっかりトレースできるように、そこを限定せずに「他」と書いてあるという認識でよろしいですかね。

【白戸情報推進課長】

はい。

【石橋委員】

要は、誰でも聞かれれば答えるよというように思える。

【白戸情報推進課長】

そういうことではないですね。

【石橋委員】

そこはないということですね。承知しました。

【樋口部会長】

コンビニエンスストア等というのは、例えば、これはドラッグストアなんかでもあるのですか。

【白戸情報推進課長】

場合によっては市役所に置いたりとか、例えばスーパーの片隅に置いたりという場合があります。

【樋口部会長】

スーパーももちろんあるのですね、コンビニだけではなくてね。

【白戸情報推進課長】

はい。

【羽根委員】

読んでいて大体状況は分かりましたし、意味も分かりましたけれども、リスク管理の45ページのところだけイメージが湧かなかったのですが、変わったところで、証明書交付センターにおいてキオスク端末の操作画面を制御すると書いてありますが、これはどんなことをするのかというイメージが湧かなかったのですが、分かりますか。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

選べないようにしてしまうということです。対象がない、接種記録がないところについては、もうグレーアウトして選べない形の操作の画面にして、不要なところを選択して、いたずらに特定個人情報が入力されないことがないようにしてしまうということで理

解しています。

【羽根委員】

あらかじめそういう仕組みを作っているという意味ですか。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

はい。VRSでいうと国側のシステムの中でコンビニの交付をするか、しないか自体も市町村で選べますので、要はコンビニ交付に参加しますよと言った市町村に対してのみポタンで申請できる、選択できるようにあらかじめしてあるということです。

【羽根委員】

分かりました。いや、何か制御しているのか、都度何かやっているのかなど。分かりました、ありがとうございます。

非常に初歩的な質問だと思いますが、17ページの④委託先への特定個人情報ファイルの提供方法で、電子記録媒体とフラッシュメモリーと分かれていますけど、これは何でわざわざフラッシュメモリーだけ別だとしているのですか。

【白戸情報推進課長】

国のひな形で、真意は担当者に聞かないと分からないところもありますけど、恐らくUSBメモリーみたいなものを除くということではないかなと、フラッシュ型ではなくてハードディスクだとか、そういうものを想定しているのだろうと思います。

【羽根委員】

USBとかは危ないという認識なのでしょうか。

【白戸情報推進課長】

多分それで分けているのではないかなと思います。

【羽根委員】

なるほど。

【白戸情報推進課長】

特に小さいから気をつけようという配慮だと思います。

【樋口部会長】

いや、それこそ基本的なことだけど、これは特定個人情報に当たるのですか。

【白戸情報推進課長】

マイナンバーを使う事務になりますので。

【樋口部会長】

だからということですか。なるほど。

フラッシュメモリーというのはUSBのことですか。

**【白戸情報推進課長】**

とは限らないですが、USBが代表的な媒体です。

**【樋口部会長】**

そうですか。フラッシュではないメモリーもあるのですね。

**【石橋委員】**

フラッシュではないメモリーもこういうところにございますけれども、まず、フラッシュメモリーというのが大体やり取りするときに使われるもので、例えば携帯の中にちょっとしたカードみたいなやつも、デジカメとかに使っていたやつもございますよね。

**【樋口部会長】**

そうですね、SDカードみたいな。

**【石橋委員】**

そうです、SDカードです。SDカードもフラッシュメモリーです。

**【樋口部会長】**

あれもフラッシュメモリーですか。

**【石橋委員】**

USBメモリーはそういうカードではなくてUSBの差し口に差し込んで使うものです。

**【樋口部会長】**

それだけ私も持っているのでわかります。

**【石橋委員】**

そうですね。

**【樋口部会長】**

もうそれで、USBなんか使っているのは時代遅れだとかこの前言われてしまったので。何でクラウドではないのかとか言われているので。

**【石橋委員】**

どこかの自治体で漏れて、逆にUSBでやり取りするのは危険という。

**【羽根委員】**

クラウドってネット環境にないと駄目ですよ。

【白戸情報推進課長】

そうですね、ネットワークでつながないと。あるいは専用線でつながないとというものです。

【石橋委員】

これはもう今回の話ではなくて大変申し訳ないですけど、キオスク端末で取れるということは、コンビニのキオスク端末というのはL G W A Nに常に接続されているということですよ。

【白戸情報推進課長】

そうです。

【石橋委員】

住民票とかは既にそれで取れるようになっているということですよ。何か、そうしたときに10ページの図ですけれども、何となくこれだと多分、キオスク端末からは一旦V R Sを経由して、三鷹市のいろいろな番号管理システムにアクセスするような形になっていきますけれども、これと全然違う話ですけど、例えば住民票を取るときはもちろんV R Sは経由しないわけで、そういうときはどういうルートになるのですか。

【白戸情報推進課長】

これはキオスク端末からJ - L I Sの交付センターに来て、そこから市の住民情報のシステムにつながるのですが、真ん中にゲートウェイのようなものを置いて、そこでやり取りをしている形になります。

【石橋委員】

そのゲートウェイが逆にV R Sとやり取りする方が普通かなと思ったのですが、これは、わざわざV R Sにつながっているシステムになっているのですね。

【白戸情報推進課長】

今、V R Sにはワクチン接種した会場からも入りますし、市の方からも情報が入りますし、これが一番正の情報が入っていますので、こことつなげる、住民情報とつなげますとまだ完全ではない情報だったりしますので、こっちを正として、かつ、自動で連携できますので、国が管理しているシステムですので、市町村ごとでばらばらにならずに済むということですよ。

【石橋委員】

もちろんこれは三鷹市でやっているのではなくて、多分、国の方で作ったシステムだと

思います。参考までにお伺いさせていただきました。ありがとうございます、承知しました。

**【樋口部会長】**

ワクチン接種をしているかどうかというのが簡単に証明書を取れるというのは、やはり旅行であるとか何とかですごく便利なシステムを作ってくれたというのは分かりますけど、これはもちろん国全体のシステムとして自治体でということになっているけど、自治体ごとでやる分析に意味があるのかどうか分からないけども、こういうワクチン接種の記録が一方でありますよね。例えば三鷹市民の中で接種はしたけれども感染した人がどのくらいいるとか。その中で重篤になった人というのがどれくらいいるとか、そういう情報の方がすごく身近というか、やはりこれだけの事態を迎えているわけだから、どこの自治体でもいいですけども、全部でやる必要はないと思いますけど、それぞれのところでそうしたら何かの発見がある。そうするとかかりやすい人が高齢者であるのか、そうではないのかとか、高齢者は重篤化すると言って脅されているだけなので、とにかく何かの解析をどこかでやっているものなのですか。

**【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】**

国全体で言えばHER-SYSという陽性になった方が登録するシステムがあって、そこにはワクチンを御自身で何回受けたといった情報とか、当然、年齢の情報とかもありますので、それを基に国の方が毎週1回、アドバイザリーボードみたいなところで分析した結果を出していたりしますので、国レベルでは広い範囲でやっているイメージです。コロナがある程度落ち着いたときに、地域性がどうだったとかいったことは分析に使えると思いますけど。

**【樋口部会長】**

ありがとうございます。この点検なるものは以上の説明を聞いて、こういうシステムに情報を入れて、それについてリスクの問題もさっき御指摘ありましたけど、やっているねと確認するということでのよろしいわけですか。

**【白戸情報推進課長】**

はい。

**【樋口部会長】**

確認しましたか。もうよろしいですか。

**【羽根委員】**



はい。

【樋口部会長】

ほかにももう少し何か補足はありますか。我々に教えておきたいという。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

大した情報ではなくて恐縮ですけれども、今のところコンビニ交付は、全国展開しているコンビニではセブン-イレブンだけということ。

【樋口部会長】

そうですか。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

そうです。ほかのコンビニ大手はこれからというところになっています。

【樋口部会長】

まだまだこれからですか。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

そうですね、順次ということでは聞いています。委員長が冒頭おっしゃっていたように、全国どこからという意味だと、三鷹の証明書を発行した第1号が北海道のコンビニだったので。

【樋口部会長】

ちゃんと記録はこちらに残るのですね。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

どこで発行したとかというのは全て見られます。

【樋口部会長】

それ自体が何か面白い有益な情報になるということはないのかな。

【山口新型コロナワクチン接種本部担当課長】

ただ、やはり利便性はすごく高いのかなと思います。

【山下新型コロナワクチン接種本部主査】

補足しますと、住民票とか印鑑証明のコンビニ交付自体は、ほぼ全国の名前の思いつくようなコンビニエンスストアでは始まっていますけれども、ワクチンパスポート、予防接種証明書のコンビニ交付はセブン-イレブンだけが今、全国展開しているので、今後、ローソンさんとかファミリーマートさんとかは展開していくのではないかなと思っていますけど、国も段階的に拡大していく予定という情報は得ていますので、段々広がっていくの

ではないのかなと思っています。

**【羽根委員】**

まだまだワクチンが続くという前提なのですね。

**【樋口部会長】**

そうですね、本当に。でも、こういうシステムが一つ既にできていると、将来的に何か同じような感染症が、どこまで続くのか分からないけれども、非常に容易にはなるでしょうね、幾ら何だって。

ほかに何かありますか、事務局、その他。

**【石橋委員】**

少しだけ違和感がございましたのは、逆にコンビニで既に住民票を出せるようになっていく段階で、ワクチン証明書を出すことは、追加としては軽微な追加のような気がしてしまうのですが、何か、そのたびにやっていただくコストとして、ちょっと多大過ぎないかなと思ひまして。だから、そういうのはデジタル改革共創プラットフォームで判断になったと、個人情報保護の観点はもちろんあるのだけれども、もっと事務の手續上、簡易化できないかみたいな御意見をされるといいのかなと。

**【樋口部会長】**

他方で、多分この評価部会が今度なくなりますよね。

**【石橋委員】**

そうですね。

**【白戸情報推進課長】**

この形か分からないですけど、同じように点検をしていただく組織は必要ですので。

**【樋口部会長】**

そうですか。私がさっき読み違えたのかな。特定個人情報保護条例は廃止しますと書いてあったように。

**【八木相談・情報課長】**

そうですね、直接マイナンバー法が適用されますので、特定個人情報保護条例というのは廃止するのですが、ただ、この第三者評価につきましては、今回改正する個人情報保護条例の方に盛り込ませていただきまして、ここだけ残りますということで、名称等はこれからですが、条文に盛り込ませていただく形でございます。

**【樋口部会長】**

ともかく、この件については一応審議を終了して、異議なき旨ということでよろしいですね。

それでは、本委員会の方からこの部会で審議して、一応、一種の委任みたいな話は既にしてあるので、それを次回報告するということですね。あと、事務上の手続が何かあるようで、それは私と事務局でとこう書いてあるから、そういうことでしょうか。

議事録につきましては、部会長確認のうえ、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、公表することといたします。

それでは、令和4年度第1回三鷹市個人情報保護委員会特定個人情報保護評価部会をここで閉会させていただきます。本当にありがとうございました。